

金時草のパスタソースなど

農商工連携3件認定

北陸農政局

【いしかわ】北陸農政局と中部経済産業局は17日、金沢市で2009年度第1回農商工等連携事業計画と同連携支援事業計画の認定証交付式を開き、加賀野菜・金時草(きんじそう)のパスタソースなど3件を認定した。このうち連携支援事業計画1件は同農政局・同経済産業局管内で初の認定。これで北陸地域の認定数は20件(富山6、石川7、福井3、新潟4)となった。



内村北陸農政局長(中央)から事業計画の認定書を受け取る島理事長

今回認定されたのは▽スターソースの製造販売業者・菜つくりの会、中小企業者・フレッシュ金沢(金子を極大化したトラフグ)▽富山湾海水を活用した陸上養殖により白

者・堀岡養殖漁業協同組合(富山県射水市、同・快成(富山市)――)の2事業計画と▽特定非営利活動法人スターシップ農商工連携支援機構(金沢市)の連携支援事業計画。

このうち金時草のパスタソースは、北陸野菜つくりの会が金時草栽培技術の普及で安定生産供給を図り(14年の売り上げ目標300万円)、フレッシュ金沢は自社の和風だしと組み合わせてパス

タソースの製造販売を計画する(同売り上げ目標2000万円)。深田道雄フレッシュ金沢代表取締役は「湯涌(の野菜)にこだわって新たな用途を開拓し、地域農業の発展を目指したい」と新商品開発に取り組む。

スターシップ農商工連携支援機構は北陸3県を活動エリアに、登録会員約3000件のデータベ

ミニナーでのビジネスマッチング交流会を開催。13年9月期までに5件の農商工連携の形成を目指す。すでに金沢市で2件の連携協議が進行中という。島嘉伸理事長は「今回の認定を機に、NPO(民間非営利団体)のネットワークを生かして中小企業者、農業者を舞台に出していく」と意欲を示した。

交付式には内村重昭同農政局長、飛田聡同産業局電力・ガス事業北陸支局長が出席、認定された事業者らを激励した。